

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 今週の注目材料 = 米雇用統計は、雇用の増加ペースは鈍化も堅調を維持か

2020年9月28日

マーケットが注目する米雇用統計(9月)が2日に発表されます。前回8月分の雇用統計は、非農業部門雇用者数(NFP)が+137.1万人とほぼ予想通りながらかなりの雇用増傾向を維持しました。また、市場が驚いたのが失業率で、予想をはるかに超える改善を示し、7月の10.2%から一気に8.4%に低下しました(事前予想値は9.8%)。

FRBが重視しているとされるU6失業率(正規雇用を望みながら非正規雇用に従事している層や雇用市場が良くないため求職活動自体をあきらめている層などを含んだ広義の失業率)も7月の16.5%から14.2%に大きく低下しています。

また、失業率の大きな改善にも関わらず労働参加率が7月の61.4%から61.7%に上昇(失業率の低下は一般的に労働参加率の低下につながります)するなど、雇用市場の堅調さを意識させる一連の結果となりました。

こうした状況がその後の米株高などにつながったとみられています。

前回の内訳を確認してみると、これまで大幅な雇用増を引っ張ってきた飲食サービス(レストラン・バーなど)部門は+13.36万人と堅調な数字ながら、5月から7月にかけての+146.12万人、+146.79万人、+52.53万人という数字からは伸びが落ち着いてきました。新型コロナウイルスの感染拡大前には1230万人の雇用者を抱える大きな部門でしたが、ロックダウンの下でレストランなどが基本的に休業となる中、4月には622.71万人と半分近くまで雇用が落ち込みました。経済の再開を受けて一気に雇用が回復してきましたが、8月時点で981.51万人まで戻ってきており、ここからの大幅な増加は期待しにくいところです。

レストランなどはNYやカリフォルニアなどで依然として屋内営業が認められていないなど、制限がかかっており、新型コロナウイルスの感染拡大前までの回復は状況的に望みにくいことから、今後は落ち着いた水準での雇用の回復になると見込まれています。

こちら5月以降の雇用回復を支えた小売部門は、+24.89万人。7月が+23.62万人なので堅調地合いを維持しています。5月の+38.59万人、6月の+85.8万人などに比べるとこちら伸びが落ち着いていますが、飲食部門と違い1567万人から3月、4月の落ち込みを経て1328.76万人と238.44万人の落ち込みにとどまっていますので、これでもしっかり戻しているという印象。雇用者数はすでに1500万人台を回復してきており、こちら今後は落ち着いた水準での回復が見込まれます。

最後に前回の雇用増を支えたのは政府部門の+34.4万人でしたが、こちらは月ごとのブレがそれなりにあり、高水準での雇用の増加は難しいこと、例年9月に増える教育部門の雇用(夏休みが終わり、新学期に入った教育関係部門の雇用)について、今年はそのも7月ごろの雇用の減少が見られていない分、その反動も期待できないことなどから、9月分は厳しい数字が見込まれます。

今回の9月分の雇用統計は事前予想が+86.5万人、失業率が8.2%となっています。雇用増のペースは8月から落ちますが、こちらは上記のように多くの雇用回復を支えてきた部門の落ち着きを考えると仕方ないところ。水準的にはそれでもまだ多いようにも見えますが、米経済の順調な回復傾向を考えると、十分にありうるといったところで

す。

ただ、新型コロナウイルスの感染拡大の動きがサンベルト以南を中心にまだ継続していること、レストランの屋内営業の制限などの行動制限がまだ残っている地域が見られることなどから、予想ほど雇用が増えない可能性は十分にあります。

また、失業率は前回の一気に低下からもう一段下げる見込みになっていますが、こちらは前回の反動がないかが警戒されています。前は事業所ベースでの統計が事前見通しとほぼ一致し、家計ベースでの統計が予想よりもかなり強いという状況でした。どちらが正しいというものではありませんが、家計ベースの前回の結果がやや過剰に改善を示していた場合、今回反動が出る可能性は否定できません。

予想前後の数字であれば米雇用市場の回復が順調という印象も、予想よりも弱く出るリスクがあるという意識は必要かもしれません(想定を超えて強く出たりするのも雇用統計ではあるのですが)。弱めに出た場合リスク警戒の動きが一気に強まる可能性がありますので要注意です。

#### 山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

---

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。